

履 歴 書

(フリガナ) ペ ヨンジュン
氏 名: 裴 勇浚

西暦 2018年 11月10日現在

来日時期: 2002 年 4 月 1 日

記入例
直筆で記入

学 歴・職 歴 等

在学・勤務期間	学校名・勤務先・所在地	正規 年数		専攻分野・職務内容（役職名）
1994 年 4月から 1997 年 3月まで	韓国・大田高等学校	3 年	卒業 ・ 中退	理系 化学専攻
1997 年 4月から 1999 年 10月まで	韓国・兵役	2年 6ヶ月		主として釜山で研究所勤務
1999 年 11月から 2000 年 3月まで	韓国・ソウル市 ・リコーカンパニー	5ヶ月		国際営業部社員 アジア担当
2000 年 4月から 2002 年 3月まで	自宅	2 年		留学準備の為 日本語塾へ通塾
2002 年 4月から 2003 年 3月まで	日本・東京 エール日本語学校	1 年		日本語
2003 年 4月から 2008 年 3月まで	東京大学	4 年	卒業	農学部 応用生物化学科
2005 年 9月から 2006 年 8月まで	シンガポール国立大学	上記 のうち1年		東京大学交換留学プログラムにて 農学部選抜生として留学
2008 年 4月から 2014 年 3月まで	日本・大阪 西日本鉄道株式会社	6 年		海外事業推進部海外チームおよび 国際グローバルチーム 社員
2014 年 4月から 現在 年 月まで	京都大学大学院	年		農学研究科分子生物細胞学専攻
日本語能力試験	取得せず ・ N1 ・ N2 ・ N3 （取得年月日 2002年 7月）			
日本語学習履歴	独学 ・ 日本語学校 ・ 中学校 高校 ・ 大学 ・ その他			
賞 罰				

（注）留学準備期間・兵役期間なども含めて、高等学校入学から現在に至るまでの
学歴・職歴等について時間の切れ目なく時系列に記載してください。

なお、所在地は国名・都市名を記入のこと。（例：中国・大連市、韓国・釜山市）

公益財団法人ロッテ財団

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、直筆で丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペンで書くこと。

「2019 年度奨学金申請書」について

- (1) 漢字名の名前を持つ場合は、氏名欄に漢字を記入し、フリガナをつけること。
- (2) 在学大学名等欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名・年次を記入する。
- (3) 入学時期は該当するものに○印をつけること。
- (4) 大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程に○印をつけること。
- (5) 年次は記入時点ではなく、2019 年 4 月現在によって記入する。

「履歴書」について

- (1) 高等学校から時系列に現在の大学（大学院）在籍まで、学歴、職歴、その他を通して空白の期間がないように記入すること。
- (2) 在籍した学校名については、卒業か中退どちらかを記入すること。
- (3) 職歴については国名・都市名を記入のこと。
- (4) 日本語能力試験について、現時点で合格しているものに丸をすること。取得年月も記入のこと。
- (5) 日本語学習履歴については、該当するものに丸をすること。複数可。

「本人申告書」について

- (1) 本国（実家）の住所欄は、漢字表記がある場合には漢字も併せて記入すること。
- (2) 家族氏名欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹について記入すること。
- (3) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。小売店の経営などの場合は店名および店種を記入。
（例 1：勤務先「天津不動産」職種「不動産斡旋業；従業員 2 人」
例 2：勤務先「フエ穀物雑貨店」職種「コンビニ：家族経営」）
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中のものは学校名・学年を記入すること。
- (4) 配偶者が留学生又は社会人で、奨学金、給与所得等の収入がある場合には、「経済状況」の「③ その他の収入」「内容」欄に記載すること。
- (5) 単発の奨学金がある場合は総額を⑤に記載し、それを 12 ヶ月で割った金額を月額として、下の段に記載し、その月額を①から⑤の合計金額に含めること。
- (6) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（又は、留学後の予定）」は、別紙用紙に記入すること（各 200 字以内）。

申請書類の提出期限

各大学の締切り期間までに、申請書類を揃え、所属大学の留学生事務担当窓口に提出すること。
ご質問等は各大学の担当者に問い合わせ下さい。なお、当申請に関する書類につきましては、当財団で厳重に管理し、選考目的以外に使用したり、申請者の許諾なく第三者に開示したりしないものとします。